

## 大矢紀様からの絵画の御寄贈に対しまして感謝状を贈呈しました

川崎市市民文化大使で、これまでに川崎市文化賞をはじめ数々の賞を受賞されている日本画家である、麻生区在住の大矢紀様から、絵画2点を川崎市に御寄贈いただきましたことに対し、感謝状を贈呈いたしました。また、大矢紀様は、今年3月1日付で日本芸術院会員に御就任されており、その御報告も兼ねて表敬訪問されました。

寄贈作品は川崎市役所本庁舎の応接室に飾らせていただきました。

### 【贈呈式】

- 1 日 時 令和8年3月23日（月）  
17時00分～17時15分
- 2 場 所 川崎市役所本庁舎 7階 市長応接室
- 3 出席者 大矢 紀（おおや のり）様  
川崎市長 福田紀彦



感謝状贈呈の様子

写真左：大矢様 写真右：福田市長

- 4 寄贈作品（いずれも大矢紀様の作品です。）

#### 寄贈作品①

作品名：富貴花<sup>ふうきか</sup>



#### 寄贈作品②

作品名：令和の春



### 【日本芸術院について】

日本芸術院は、芸術各分野の優れた芸術家を優遇顕彰するために設けられた国の荣誉機関で、芸術の発達に寄与する活動等を行います。院長1名と会員120名以内で構成され、会員は芸術上の功績顕著な芸術家が選ばれ、文部科学大臣により任命されます。

【問合せ先】川崎市市民文化局

川崎市市民ミュージアム <sup>こいずみ</sup> 古泉

電話：044-712-2800

## 大矢 紀 氏 略歴

師 前田青邨・平山郁夫

- 昭和 11 年 3 月 新潟県長岡市出身
- 昭和 29 年 3 月 都立豊島高等学校卒業
- 昭和 30 年 9 月 第 40 回 再興日本美術院展 初出品初入選「石神井川」
- 昭和 32 年 9 月 第 42 回 再興日本美術院展 入選「花菖蒲」、日本美術院 院友に推挙
- 昭和 45 年 9 月 第 55 回 再興日本美術院展 奨励賞、白寿賞「北辺」 以後 12 回同賞を受賞
- 昭和 46 年 3 月 第 26 回 春季院展 春季展賞「山の音」 以後 2 回同賞を受賞
- 昭和 47 年 3 月 昭和 47 年度 優秀作品として文化庁買上「北の湖」
- 昭和 48 年 3 月 第 28 回 春季院展 奨励賞「幽」 以後 7 回同賞を受賞
- 昭和 51 年 9 月 第 61 回 再興日本美術院展 日本美術院賞・大観賞「北岬」
- 昭和 54 年 3 月 紺綬褒章受章 以後 7 回
- 昭和 58 年 3 月 第 38 回 春季院展 外務大臣賞「静寂」
- 昭和 59 年 9 月 第 3 回 前田青邨賞受賞
- 平成 3 年 11 月 NHK「趣味の園芸」表紙原画展 日本橋高島屋ほか 4 館にて開催
- 平成 10 年 11 月 日本美術院 同人に推挙
- 平成 11 年 11 月 新潟日報社文化賞を受賞
- 平成 14 年 4 月 第 1 回 奈良県万葉日本画大賞展（平山郁夫、上村淳之、中路融人、土屋禮一、大矢紀）審査員となる。
- 平成 16 年 11 月 第 33 回 川崎市文化賞受賞
- 平成 17 年 9 月 第 90 回 再興日本美術院展 文部科学大臣賞「煌」
- 平成 20 年 9 月 第 93 回 再興日本美術院展 内閣総理大臣賞「浄」
- 平成 23 年 東大寺ミュージアムの散華制作
- 平成 25 年 11 月 平成 25 年度（芸術文化）新潟県知事表彰
- 平成 29 年 11 月 「大矢 紀展-大地(いのち)の輝きを描く-」（川崎市市民ミュージアム）開催
- 平成 29 年 12 月 第 8 期川崎市市民文化大使として選任される。  
（第 8 期、9 期、10 期、11 期、12 期在任中）
- 平成 30 年 4 月 「春の園遊会」御招待を受く
- 令和元年 1 月 総理大臣邸エントランスに第 100 回再興日本美術院出品作「浄土須弥」を展示  
他 3 点
- 令和 2 年 11 月 神奈川県文化賞受賞
- 令和 6 年 3 月 第 80 回 日本芸術院賞受賞（令和 4 年再興第 107 回院展出品作「北の神山」）
- 令和 8 年 3 月 日本芸術院会員に任命される。

- 現職
- ・公益財団法人日本美術院 同人・理事
  - ・公益財団法人川崎市文化財団 理事
  - ・長岡市名誉市民
  - ・川崎市市民文化大使（第 12 期）
  - ・五泉市観光大使
  - ・日本芸術院会員

著書 ・「折々の花」、「牡丹図譜」（NHK 出版）

- 共著
- ・「日本画ノート・風景」（視覚デザイン研究所）
  - ・「日本画技法講座 風景を描く」、「画文集 万葉の花」（NHK 出版）